

令和 05 年度				調 査	
今町終末処理場 無停電電源装置更新 工事				設 計	
設計書					
工 事 番 号			施 工 地		
下水補工第 9 号			見附市 今町7丁目 地内		
		実 施 ・ 元		変 更	
設 計 額		円		円	
契 約 額 (内消費税額)		円 ( 円 )		円 ( 円 )	
工 事 ・ 履 行 日 数		工事日数 100 日間 又は 完成期限 年 月 日		日間( 付与日数 日間 ) 完成期限 年 月 日	
実 施  (元)  設計概要	無停電電源装置更新  鉛蓄電池撤去 N=54セル 鉛蓄電池設置 N=54セル		変 更   設計概要		

## 設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意），“n”は任意の半角数値です。

### 1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099※		Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx※	TFJAxxxxxxxx※	TYxxxxxxxx※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合があります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

### 2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。 ※

積算基準〔1 県版〕	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準〔2 調査関係〕	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準〔3 港湾〕	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準〔4 下水道〕	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。 ※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWExxxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900※	S0901※	SE918※	
名称、労務数量等を設定	SA901※	SA902※	SA910※	SC900※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合があります。

# 工 事 仕 様 総 括

本工事は、「新潟県土木工事標準仕様書」（港湾工事にあたっては、「新潟県港湾工事標準仕様書」）、「下水道土木工事必携（案）」、「用地調査等業務共通仕様書」及び添付の「特記仕様書」により施工すること。

## 施 工 条 件 総 括 表

下記項目、事項のうちレ印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、甲（市）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明示項目	施 工 条 件
<input type="checkbox"/> I 工程関係	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり ・工事名： ・予定期間：
	<input type="checkbox"/> 2. 施工時期、時間、方法の制限あり ・時 期： ・時 間： ・方 法：
	<input type="checkbox"/> 3. 関係機関協議による工程条件あり ・協議内容： ・完了予定時期：
	<input type="checkbox"/> 4. その他
<input type="checkbox"/> II 用地関係	<input type="checkbox"/> 1. 工事用地等の未処理部分あり ・処理見込時期： ・区 間：
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設ヤードの指定あり ・場 所： ・期 間：
	<input type="checkbox"/> 3. その他

明示項目	施 工 条 件
Ⅲ 公害対策 関 係	Ⅰ 1. 公害防止の制限あり（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） ・施工方法： ・作業時間：
	Ⅰ 2. 家屋等の調査の必要性あり ・方 法： ・範 囲：
	Ⅰ 3. その他
Ⅳ 安全対策 関 係	Ⅰ 1. 交通安全施設等の指定あり ・交通誘導員：  ・その他施設等：
	Ⅰ 2. 近接作業制限あり（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） ・内 容： ・工法制限： ・作業時間制限：
	Ⅰ 3. 発破作業あり ・保安設備 及び保安要 ・防護工： ・作業時間制限：
	Ⅰ 4. 防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等） ・内 容：
	Ⅰ 5. その他
Ⅴ 工事用道路 関 係	Ⅰ 1. 一般道路を搬入路としての使用制限あり ・搬入経路： ・期 間： ・使用後の処置：

明示項目	施 工 条 件
	<input type="checkbox"/> 2. 一般道路の占用 ・期 間： ・規制条件： ・時間制限：
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設道路設置 ・工法指定の有無： ・用地関係： ・安全施設： ・工事完了後の 「存置」または「撤去」：
	<input type="checkbox"/> 4. その他
<input type="checkbox"/> VI仮設備関係	<input type="checkbox"/> 1. 仮設備の指定あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設備の条件指定あり
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設構造物の転用，兼用あり ・工 種： ・内 容：
	<input type="checkbox"/> 4. イメージアップあり ・内 容：
	<input type="checkbox"/> 5. その他
<input checked="" type="checkbox"/> VII残土・産業廃棄物関係	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり

明示項目	施 工 条 件
Ⅶ工事支障 物 件 等	Ⅶ 1. 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） ・内 容：  ・移設、撤去、 防護方法等： ・時 期：
	Ⅶ 2. 占用物件重複施工あり ・内 容：
	Ⅶ 3. その他
Ⅷ排水工 (濁水処理含む)	Ⅷ 1. 濁水、湧水処理等の特別な対策あり ・内 容：
Ⅸ薬液注入 関 係	Ⅸ 1. 薬液注入工法あり
Ⅹそ の 他	Ⅹ 1. 現場発生材あり ・品 名： ・納入場所：
	Ⅹ 2. 支給品及び貸与品あり ・品 名： ・引渡場所：
	Ⅹ 3. リサイクル塩ビ管の使用
	Ⅹ 4. その他

明示項目	施 工 条 件				
<input checked="" type="checkbox"/> XⅡ 排出ガス対策型建設機械	<div data-bbox="412 199 2004 462"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。  排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 </div> <table border="1" data-bbox="430 466 1756 1204"> <thead> <tr> <th data-bbox="430 466 1393 507">機 種</th><th data-bbox="1393 466 1756 507">備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="430 507 1393 1204"> <div data-bbox="430 513 833 782"> 一般工事用建設機械  ・バックホウ  ・トラクタショベル（車輪式）  ・ブルドーザ  ・発動発電機（可搬式）  ・空気圧縮機（可搬式）  ・油圧ユニット </div> <div data-bbox="459 821 1377 1053"> 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの  油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機  油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機  リバースサーキュレーションドリル、アースドリル  地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 </div> <div data-bbox="430 1093 1025 1173"> ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ  ・ホイールクレーン </div> </td><td data-bbox="1393 507 1756 1204"> ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。 </td></tr> </tbody> </table> <div data-bbox="412 1236 2004 1316"> <input checked="" type="checkbox"/> 2. 排出ガス対策型建設機械（第2次基準及び第3次基準）を標準としている施工においては、これを積極的に使用し普及促進に努めること。 </div>	機 種	備 考	<div data-bbox="430 513 833 782"> 一般工事用建設機械  ・バックホウ  ・トラクタショベル（車輪式）  ・ブルドーザ  ・発動発電機（可搬式）  ・空気圧縮機（可搬式）  ・油圧ユニット </div> <div data-bbox="459 821 1377 1053"> 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの  油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機  油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機  リバースサーキュレーションドリル、アースドリル  地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 </div> <div data-bbox="430 1093 1025 1173"> ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ  ・ホイールクレーン </div>	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。
機 種	備 考				
<div data-bbox="430 513 833 782"> 一般工事用建設機械  ・バックホウ  ・トラクタショベル（車輪式）  ・ブルドーザ  ・発動発電機（可搬式）  ・空気圧縮機（可搬式）  ・油圧ユニット </div> <div data-bbox="459 821 1377 1053"> 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの  油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機  油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機  リバースサーキュレーションドリル、アースドリル  地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 </div> <div data-bbox="430 1093 1025 1173"> ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ  ・ホイールクレーン </div>	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。				
<input checked="" type="checkbox"/> XⅢ 施工方法等	<input checked="" type="checkbox"/> ・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）				

建設副産物特記仕様書

1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	備考

2. 建設発生土の利用

盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記により積算している。

搬出先地名			
搬出先地先			
連絡先			
設計運搬距離			
受入時間			
設計受入費用			
仮置場所の有無			
備考			

建設発生改良土プラントへ土砂を運搬処理する場合、上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。  
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。  
注) 受入先が建設改良土プラントの場合、搬出先欄には「プラント」と記載し、搬出先地名、連絡先の欄には記入しない。

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記により積算している。

搬出する廃棄物名	鉛蓄電池		
設計運搬距離			
受入時間			
設計受入費用	105円/kg		
備考	広域認定業者による処分		

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

5. 舗装切断時の濁水搬出

工事の施工により発生する舗装切断濁水は、下記により積算している。

設計運搬距離			
設計受入時間			
設計受入費用			
備考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

6. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

7. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

8. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。



下水補工第9号 今町終末処理場 無停電電源装置更新 工事  
特記仕様書

1. 本工事の施工範囲について

本工事は、今町終末処理場の電気室内に設置されている無停電電源装置について、鉛蓄電池54セルの入替を行うものである。

2. 既設品について

現在設置されている鉛蓄電池に関する情報は、以下のとおりである。

- (1) 蓄電池の形式：制御弁式据置鉛蓄電池
- (2) 組電池名称：SNSX-150 (制御弁式据置鉛蓄電池)
- (3) 単電池名称：SNS-150
- (4) 製造年月：平成19年2月
- (5) 製造会社：(株) ジーエス・ユアサプライ
- (6) セル数：54セル
- (7) 組電池容量：150Ah (10時間率)
- (8) 質量：約810kg (付属品含む)

3. 既設品の処分について

- (1) 撤去した既設品は、広域認定制度（請負業者と広域認定業者との契約）により処分を行うことを想定している。
- (2) 広域認定制度を利用しない場合については、産業廃棄物処分とし、産業廃棄物管理票（マニフエスト）を発行すること。ただし、原則として設計変更の対象としない。
- (3) 上記（1）・（2）によらない処分方法（買い取り、回収、マニフエストを発行しない処分等）は認めない。

4. 新設品について

- (1) 既設品と同規格（長寿命型）の鉛蓄電池を新設することを想定している。
- (2) 他メーカーの同等品設置については、蓄電池盤内部の設置スペースに限りがあり、機器が設置できない可能性があることから、不可とする。

5. その他

本仕様書に記載されている内容以外の事項が発生した場合は、発注者及び受注者が協議のうえ、対応を定める。

以上



### 3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機-〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合があります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

### 4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データー一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データー一覧表に関連情報※が記載されています。

同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データー一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データー一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データー一覧表金額欄に「\*減額処理\*」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データー一覧表金額欄に「\*単価置換\*」と記載されます。

## 7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。

詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目	業務区分	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない		測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上		測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計、予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上		測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない		—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

# ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊      工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊					
無停電電源装置取替		式			
機器費		式			
鉛蓄電池		式			
制御弁式据置鉛蓄電池		個		54	
据付工事原価		式			
直接工事費		式			
労務費		式			
直流電源・無停電電源装置 据付		組		1	
直流電源・無停電電源装置 単体調整		組		1	
直流電源・無停電電源装置 撤去		組		1	
直接経費		式			
機械経費		式			
軽微な機械器具損料		式		1	
仮設費		式			
間接工事費		式			
共通仮設費		式			
共通仮設費（率計上）		式			

共通仮設費（準備費積上げ）		式			
撤去品運搬費		式		1	
撤去品処分費（広域認定対応）		kg		810	
撤去品処分 管理費		式		1	
現場管理費		式			
据付間接費		式			
据付（技術者）間接費		式			
据付（機器）間接費		式			
設計技術費		式			
機器費					
工事原価計					
一般管理費等					
契約保証費					
一般管理費等計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費					

